



ラッピングに変更され、11月17日回の狛江市民まつりで披

狛江高校箏曲部が議場演奏 来夏は全国大会へ出場

狛江市議会主催の議場コンサートが11月12日(日)に催され、都立狛江高等学校箏曲部が演奏を披露した。

1、2年生の部員15人が議員席の前で荒井由実作詞・作曲の「やさしさに包まれたなら」と沢井忠夫作曲「だちゅら」を演奏。訪れた市民や議員など65人は議員席や傍聴席から静かに耳を傾けていた。

箏曲部は17日(日)に目黒区のめぐろパーシモンホールで催された東京都高等学校文化祭日本音楽部門中央大会に出場して優秀賞に選ばれ、来年夏の第44回全国高等学校総合文化祭高知大会への出場権を獲得した。

坂口結希部長ら部員たちは「初めての経験で緊張しましたが、壁面の反響が良く、いい音を出せました。議場という貴重な場で大会課題曲の『だちゅら』を演奏させていただいたことが優秀賞へとつながる大きな体験だったと思っています。来夏の全国大会に向けて努力していきます」と喜んでいました。

絵手紙のこまバス発車 ラッピングを変更

平成20年から運行されている狛江のコミュニティバス「こまバス」2台のうち1台が絵手紙をテーマにした

露された。新しいラッピングは市内在住の絵手紙作家小池邦夫さんが製作したもので、富士山や市の花ツツジなどの絵と「多摩から見えた富士山が見守る無言で」などの言葉が添えられている。車内には市民から公募した絵手紙30点が12月17日(日)まで展示されている。

小池さんは「絵手紙発祥の地・狛江を走るバスに書くことができうれしいです。絵手紙も、こまバスも生活に関連が深く、ふさわしい組み合わせだと思います」と喜んでいました。



狛江駅にピアノ設置 248人が演奏し人気

狛江駅改札口前に11月18日(日)から20日(火)まででも弾くことができるストリートピアノが置かれ、



のべ248人が演奏、通行人も足を止めて聴き入るなど、人気を呼んでいた。

「音楽の街・狛江」にちなんで、多くの人に自由に音楽に親しんでもらおうと市が小田急電鉄の協力を得て電子ピアノを設置したもので、同線では世田谷代田、新百合ヶ丘に次いで3駅目。演奏者はプロの演奏者から幼稚園児までさまざま。「最初は恥ずかしかったけど、演奏していて楽しかった」などと話していた。市では市民の意見を聴いて来年度以降の運営方法の参考にすることにしている。

市民総合体育館が 冬季短期教室開講

狛江市民総合体育館が冬休みの子どもの向けに冬季短期教室を2種目開講する。

鉄棒は23日(日)・25日(火)、とび箱は24日(月)・26日(水)、対象と時間は年中～年長は午後2時～3時、小学生は午後3時5分～4時5分、定員は各回30人(先着順)、料金は1,100円。

申し込みは同館受付へ直接。複数教室申し込み可。

問い合わせ ☎3430-1141 狛江市民総合体育館。

イルミネーション点灯 市役所で来年2月まで

狛江市役所前市民ひろばのイルミネーションの点灯が始まった。

狛江市観光協会が実施しており、ことしで5回目。11月22日(土)の点灯式は雨の中で行われ、白井昇観光協会会長と松原俊雄市長がスイッチを押すとケヤキに取り付けら



れたイルミネーションが輝きを放ち、訪れた市民は歓声を上げていた。

イルミネーションは2月28日(土)まで毎日午後5時から11時まで点灯される。

多摩川キャンドルナイト 台風にも負けず河川敷彩る

「多摩川キャンドルナイト灯と人」が11月2日(日)に小田急線鉄橋上流の多摩川河川敷で催され、家族連れや若者のグループなどが次々と訪れ、キャンドル約2,300個で描いた光の絵やライブ演奏を楽しんでいた。

このイベントは、環境問題やスローライフなどについて考えるきっかけにしようとして平成23年から灯と人実行委員会が催している。10月12日(日)の台風19号によって河川敷の地形が一変したため、キャンドルの配置を変更したり、会場の大きな石を取り除くなどしてスタッフやボランティア約80人が準備にあたり開催にこぎ着けた。



狛江市商工会の商店宅配事業

「簡単で安心」と好評

電話やファックスで気軽に注文

狛江市商工会の「商店宅配事業」が、だれでも簡単に安心して利用できる」と高齢者や子育て中のママをはじめ多くの市民に好評をよんでいる。

消費者へのサービス向上と、お店と顧客とのコミュニケーションの促進などを目的として平成13年から始まった。現在では、市内の28の商店や事業所が商品の配達のほか、多彩なサービスを提供している。

利用は簡単で、下表の登録店に商品名(サービス

名)と数量、配達希望時間、住所を電話やファックスで注文するだけでよい。なお、登録店は商工会の地域コミュニティサイト「コマエリア」(https://komaeria.com/)でも紹介されている。

育児に忙しいママは「小さい子がいるので買い物に行くのがたいへんでしたが、宅配事業で必要な物が届けてもらえるのでうれしい」、高齢者は「家まで重い買い物を運んでもらえるので助かります」と喜んで

いる。

登録店のひとつ、柴田クリーニング(東野川4-2-24)は昭和41年から50年以上にわたって地域で営業



柴田クリーニングの柴田照夫さん(右)から洗濯物を受け取る儘田さん

を続けてきた。開店当時は「ご用聞き」と呼ばれる個別訪問をして洗濯物を預かる方式が主流で、顧客の

信頼を得ることが重視された。そのため、同店では顧客の家を訪問した時に「お客様から注文や要望を聞き、コミュニケーションをとることが大切で、現在も仕事の基本にしている」という。

結婚以来29年間利用しているという東野川の儘田有香里さんは「夫が会社員なのでスーツを中心に定期的に利用しています。衣替えの時期は衣類や毛布など量が増えるので届けてもらおうと助かります。子どもの学生服を急いで頼んだ時も、ていねいに対応してもらいましたので、安心してお任せしています」と喜んで

Table with 3 columns: 品目, 店名, 定休日/受付時間. Lists various shops like 五味食品店, 玉川屋酒店, Kenko Coffee, etc.

Table with 3 columns: 品目, 店名, 定休日/受付時間. Lists various shops like プロハンズ アイツヤ, 柴田クリーニング, etc.

※年末年始の休みは各店舗にご確認ください※市外の受付や配達を行っている店もあります。